

第8回池袋地区駐車場地域ルール運用委員会資料

【令和6年度地域の駐車・交通対策実施計画 自主事業の実施について】

目次

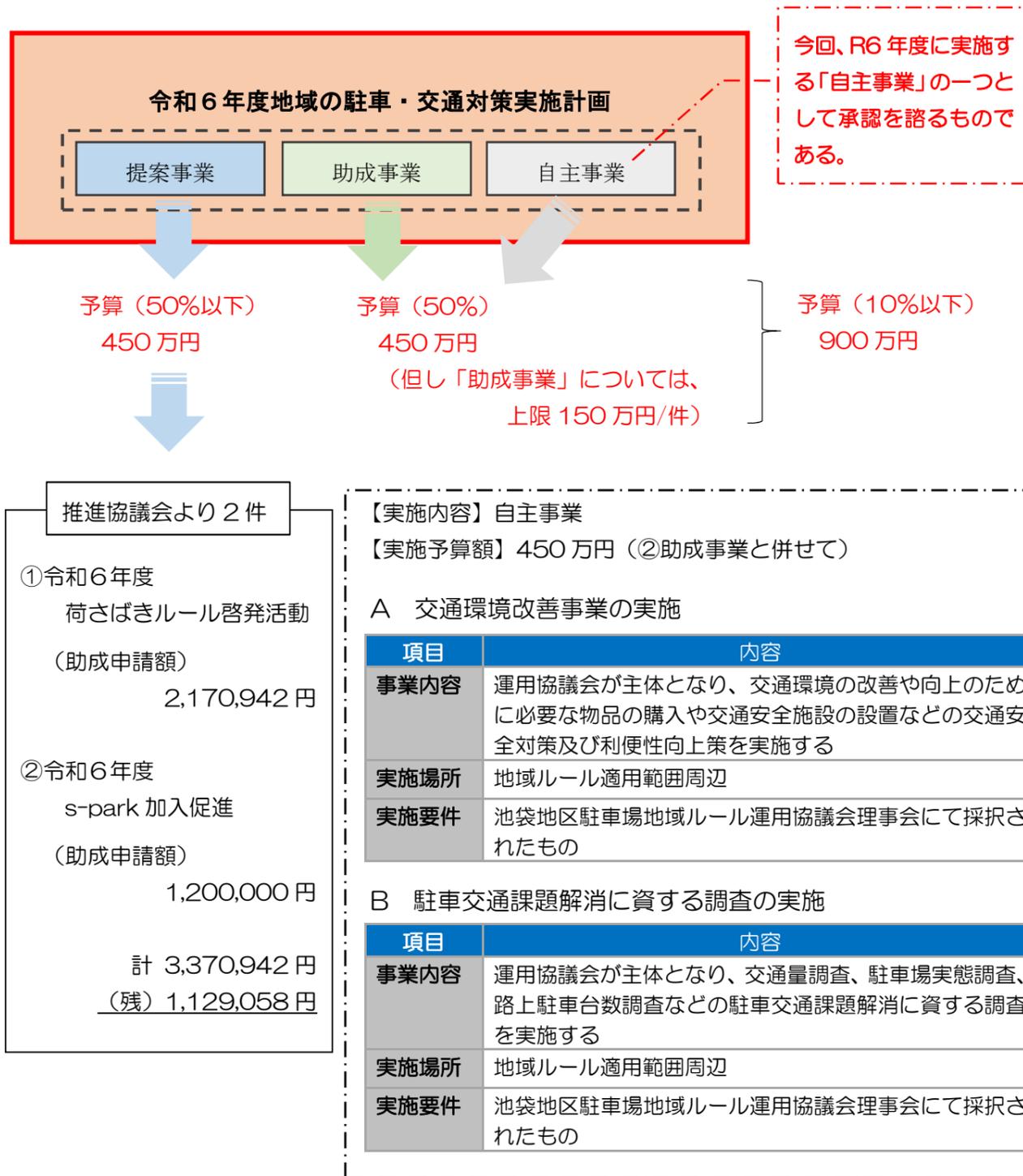
	Page
I. 令和6年度地域の駐車・交通対策の概要	01
II. 自主事業の実施について	01

令和6年（2024年）3月21日
豊島区 都市整備部 都市計画課

I. 令和6年度地域の駐車・交通対策の概要（前回第7回運用委員会資料2抜粋）

令和6年度地域の駐車・交通対策実施計画の状況について

※R5年9月末時点の法人会計現金預金約9,000万円



II. 自主事業の実施について

運用マニュアル改訂に向けた調査について

1. 運用マニュアル改訂検討の経緯

現在の運用マニュアルでは、隔地を伴う申請の場合、たとえ1台であっても当該敷地から隔地先駐車施設までの動線計画において、交差点負荷の検証を実施することを義務付けている。

しかしながら、隔地する台数規模や交差点の状況によっては、交差点負荷が軽微である可能性があり、「交差点調査」「負荷の解析作業」などは、申請事業者側の負担が大きいのが実態であり、地域ルール適用申請への大きなハードルとなっている。

2. 運用マニュアル改訂の目的

交差点解析の必要性を整理することで、検証の必要性が無いもの明確にすることで地域ルールの適用申請を促し、不要な駐車場整備を抑制することや既存駐車施設の活用を促すことを目的とする。

従って、当検証作業に伴う運用マニュアルの改訂は、本協議会の活動の主旨である「良好な交通環境を有する歩行者優先のまちづくりの推進」に資するものであることから、地域貢献協力金を活用した「自主事業」として作業を外部事業者へ委託する。

3. 運用マニュアル改訂の効果

- ◆ 小規模（敷地500㎡未満）案件の申請促進
- ◆ 不要な駐車場整備の抑制
- ◆ 隔地での駐車場確保に伴う既存駐車場の有効活用
- ◆ 歩行者優先のまちづくりに寄与
（敷地内整備は貨物・障害者のみ = 歩行者空間の連続性確保）

4. 運用マニュアル改訂に向けた調査概要

委託名称：（仮）交差点解析の条件緩和検証業務委託

委託期間：令和6年度上期

委託費用：¥1,500,000 ～ ¥2,000,000 程度

※当実施事業について、「上限額150万円/件」を超える場合は別途協議するものとする。

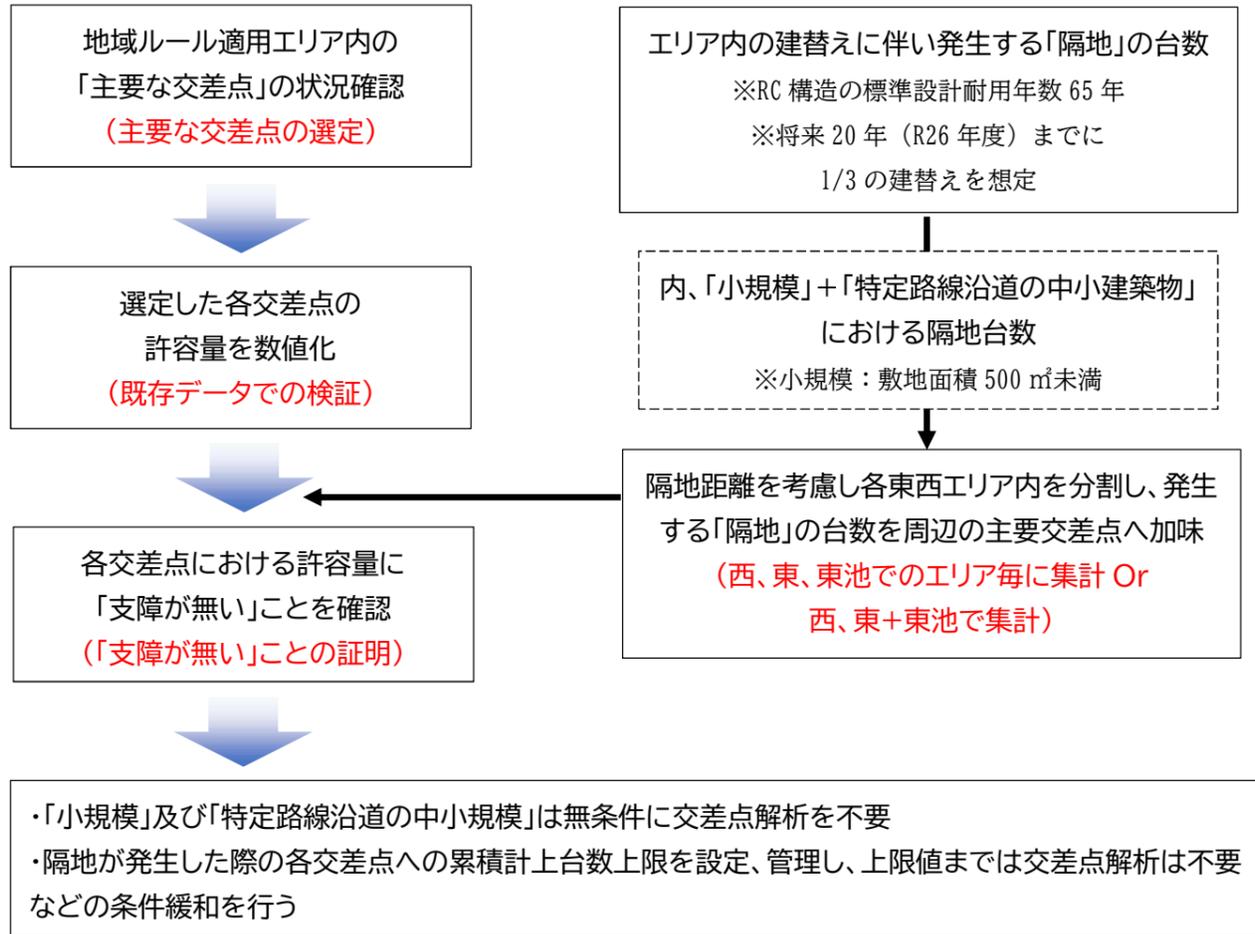
※当該メニュー：自主事業_B 駐車交通課題解消に資する調査の実施

5. 検証ロジック（案）

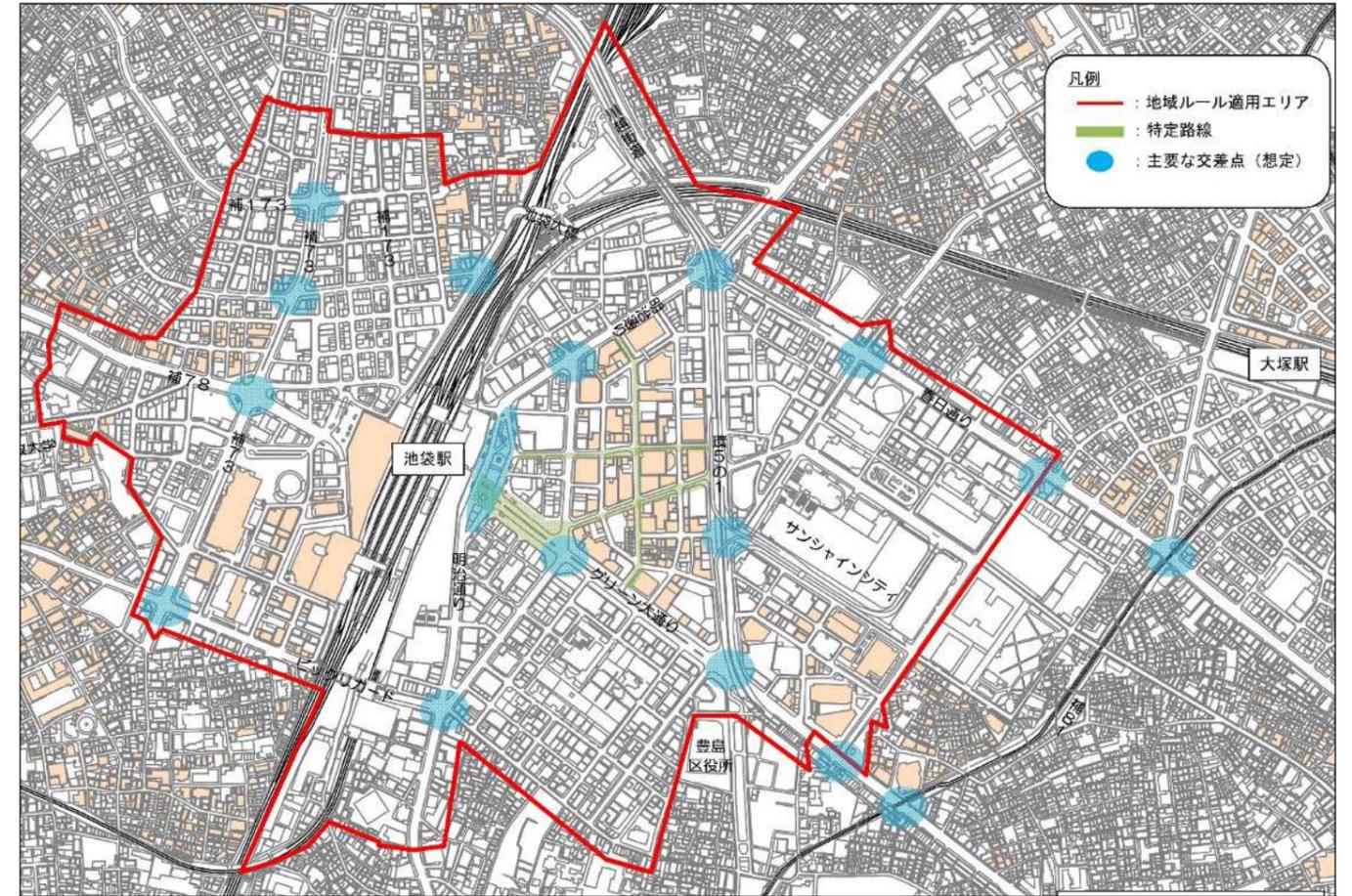
- 次ページ参照

【参考】地域ルールにおける交差点解析の条件緩和検証ロジック（案）

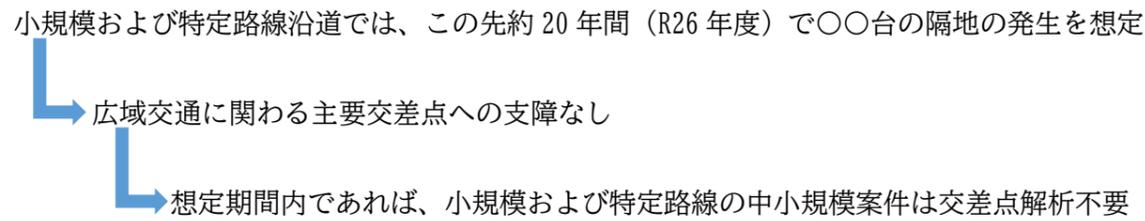
（検証フロー）



※主要な交差点（想定）



（検証ロジックイメージ）



（検証背景）

